

患者の皆様へ

2019年11月2日

千葉大学医学部附属病院薬剤部

現在、薬剤部では、「処方箋に表記した臨床検査値の有用性評価」に関して調査研究を行っています。今後の治療に役立てることを目的に、この研究では2013年11月～2022年3月31日に当院に外来受診及び入院し、薬の処方を受けられた患者さんの診療情報を利用させていただきます。診療情報などがこの研究で何のために、どのように使われているのかについて詳しく知りたい方は、下記の窓口にご連絡ください。

1. 研究課題名 「処方箋に表記した臨床検査値の有用性評価」

2. 研究の意義・目的

本研究により、処方内容確認時に検査値を利用することの有用性が立証されることで、処方箋への検査値表記の全国への普及促進が期待できます。また、検査値の利用が十分でない状況を把握することで、さらなる検査値の利用拡大が図れ、薬物治療の安全性向上が期待されます。

3. 研究の方法

2013年11月からの処方オーダを対象とし、疑義照会の対象となりうる処方を電子カルテより抽出して行う後ろ向き研究です。疑義照会の実施状況を調査し、疑義照会内容を分析します。

4. 個人情報の取り扱いについて

本研究では、得られた個人情報のうち患者さんの氏名、千葉大学病院のID(診察券番号)を含まない形で使用いたします。このため、研究成果の発表にあたっては、患者さんの氏名などは一切公表されることはありません。

5. 研究に診療情報などを利用して欲しくない場合について

ご協力いただけない場合には、結果の公開前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

文部科学省・厚生労働省による「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に基づいて公表を行っています。

研究実施機関 : 千葉大学医学部附属病院薬剤部

本件のお問合せ先 : 医学部附属病院薬剤部

薬剤師 横山 威一郎

043(222)7171 内線6497